2頁目

所長あいさつ　ある日課

自己紹介

センター所長の東（あずま）と申します。昨年４月に着任し、今年で２年目になります。皆様方におかれましては、日頃より当センターの運営及び障害者福祉の推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

支援の現場

昨年も申しましたが、私は、平成４年に厚生省に入省して今年で３３年目になりますが、その殆(ほとん)どが霞が関での勤務であり、それゆえに、支援の現場である当センターでの生活は日々興味深く新鮮で、所長に就任して１年半以上が経過した今日においても些(いささ)かも変わることはありません。

ブラブラ（ある日課）

私は、所長室でボケ～っと座っていることが本当に嫌いで、空いている時間があれば極力、所内をブラブラすることを「日課」としておりまして、授業中や訓練中の、利用者さんと職員さんの楽しげなヤリトリを拝見したり、利用者さんから、その時々の生の声を聞いたり、職員の皆様から、所長室にまで報告に行くほどではない、ちょっとしたプチ情報を教えて頂いたり、と、所長室に居るだけでは絶対にキャッチできない様々なことを把握し、日々有意義に過ごしております。

感謝と尊敬の気持ち

ただ、この「日課」を続けている根底には、

〇　利用者さんに対する、様々な選択肢がある中、当センターを選んで頂いたことへの感謝の気持ちや、障害に負けず自らの力で生きてゆくため、あはきの資格取得や日常生活を送る手段の獲得、職場復帰などに向けて努力を重ねていることへの尊敬の気持ち、

〇　利用者さんの望みに応えるための技術・能力・熱意を持ったプロフェッショナルな集団である職員の皆様に対する感謝と尊敬の気持ちがあり、非常に単純ですが、この人達と仲良くなりたいという気持ちがそうさせている、というのが正直なところです。

楽しいひととき

特に、放課後ブラブラして、その日の授業や訓練から解放された利用者さん・職員さんと、たわいもない会話を楽しむのが好きですし、また、利用者さん達が大勢集まる自治会主催のイベントや実技クラブ、スポーツ訓練発表会なども大好きでして、可能な限り顔を出し、仲間に入れて頂くなど、約４０年ぶりの学園生活的なものを楽しませてもらってます。

スポーツ訓練発表会の職員チーム

最後になりますが、職員一同、誠心誠意支援してまいりますので、卒業生、修了生、御家族の皆様及び関係者の皆様には、今後とも御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

所長　東（あずま）　基幸（もとゆき）

写真　スポーツ訓練発表会の職員チーム

スポーツ訓練発表会の職員チーム、笑顔の集合写真。左から中牟田さん、東所長、小山支援課長、関口専門職。支援課長は準優勝の賞状を掲げ、他のメンバーはピースサイン。吹き出しに、大人げなし、忖度(そんたく)なしで準優勝！！

2頁目、以上です。

他のページも含む全体版は下記のリンクからご覧下さい。

[ファイルのダウンロード](https://www.rehab.go.jp/fukuoka/files/centernews128.docx)